

科目名	診療・治療関連技術Ⅰ (薬物療法・輸血)	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次・ 時期	2 年後期 令和 8 年 10 月	単位数/時間	1 単位/30 時間
担当講師名	秋田剛典	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師 保健師
授業の概要	・薬物療法の基礎知識を理解し、安全かつ適切な与薬の方法を学ぶ。 ・輸血療法の基礎知識を理解し、安全な輸血の実施と援助の方法を学ぶ。 ・包帯法の基礎知識を理解し、正しい実施の方法を学ぶ。		
到達目標	1. 薬物療法における看護師の役割と援助の実際を理解できる。 2. 様々な与薬方法の特性を理解し、安全かつ安楽に実施するための方法を理解できる。 3. 注射や輸液の実施、管理に伴う危険と、安全な実施方法を理解できる。 4. 輸血療法に関する基礎的知識を理解できる。 5. 包帯法に関する基礎的知識と安全な実施方法を理解できる。		
事前学習内容	学習内容に関連するテキストや参考資料等を読んでから授業に臨むこと。「解剖学」「生理学」「臨床薬理学」での学習内容を前提として授業を進めるため、初回講義までに十分に復習しておくこと。		
成績評価の 方法	終講試験：100 点 ※60 点以上で合格とする		
使用テキスト 参考図書	1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 第 19 版【電子版】version2（医学書院） 2. 医療安全ワークブック 【電子版】第 5 版 version1（医学書院）		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	与薬に関する基礎知識①		講義
第 2 回	与薬に関する基礎知識②		講義
第 3 回	経口与薬、口腔内与薬		講義
第 4 回	吸入、点眼、点鼻、経皮与薬		講義
第 5 回	直腸内与薬		講義
第 6.7 回	経口与薬、経皮与薬、直腸内与薬		演習
第 8 回	注射法の基礎知識		講義
第 9 回	静脈内注射、点滴静脈内注射、中心静脈カテーテル		講義
第 10 回	輸液ポンプ、シリンジポンプ		講義・演習
第 11.12 回	筋肉内注射、皮下注射		演習
第 13 回	輸血療法		講義
第 14 回	包帯法		講義
第 15 回	包帯法		演習
履修上の 留意点	・授業内容に関連して事前・事後の学習課題を課す予定である。計画的に取り組み提出期限を厳守すること。提出物の内容の不足や期限の超過は減点の対象となる。 ・演習の際は、看護技術や関連する知識の習得に向けて積極的に取り組むこと。演習への取り組み状況から学習内容の習得が不十分と判断される場合、減点の対象となる。 ・授業内容は変更される場合がある。次回の授業予定を確認し、必要な準備をして臨むこと。		